

キゴシジガバチ

Sceliphron madraspatanum

兵庫県：要調査

環境省：

種の概要

体長20～28mm程度。体色は黒色で、腹柄節は黄色。脚にも黄帯がある。泥で壺状の巣を造り、ナカムラオニグモの幼虫を狩って巣に運び込み、産卵する。成虫は夏季に見られる。



写真提供：森正人

国内分布

本州、四国、九州

県内分布記録

神戸市、篠山市、丹波市

選定理由

人為性		特殊生息環境	学術性		
個体数激減	生息環境激変		分布が極限	分布の限界	希少
○					



特記事項

新規追加種

以前は里山の人家近くで最も普通に見られたカリバチであったが、近年は県内での記録がない。北海道を除く日本各地に分布するが、近年近隣県でも個体数の激減が報告されている。

保護上の留意点